

平成 25 年度施策マネジメントシート1(平成24年度実績の評価)

作成日 平成 25 年 8 月 29 日

総合 計画 体系	政策名	Ⅱ 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり 《定住環境》	施策主管課	下水道課
			施策統括課長	須田 弘
	施策名	11 下水道の整備	関係課	市民環境生活課,工務課,営業課,水道局総務課

1. 施策の目的と指標

目的	①対象(誰、何を対象としているのか)		対象指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		
	市民	A	人口	人	実績	実績	42,428	41,917	41,159	40,548			
見込								41,159	40,548	40,440	39,949		
実績													
						見込							
B								実績					
									見込				
C				実績									
					見込								
②意図(どのような状態にするのか)		成果指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。		A	下水道接続率	%	実績	実績	72.9	75.3	76.8	76.7			
						目標			75.5	77.0	78.5	80.0	
		B	下水道整備率	%	実績	実績	84.3	86.3	88.1	87.3			
	目標							86.2	87.2	88.3	89.3		
	C			実績									
					目標								
	D			実績									
					目標								
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)			A)B)下水道の整備が進めば、衛生的な生活環境につながると考えた。										
成果指標の測定企画 (実績値の把握方法)			A)下水道課で把握 B)下水道課で把握										
目標設定とその根拠 (基本計画策定時)			A)下水道接続率は、現在の整備状況と今後の計画、これまでの接続状況を勘案し、成行値は年1ポイントずつ伸びると予測した。 目標値は、啓発活動の強化により、成行値以上の成果を目指すこととし、年1.5ポイントずつ伸ばすこととした。 B)下水道整備率は、成行値、目標値ともに下水道整備計画に基づき整備していくこととし、その計画量から算出した数値とした。										

2. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
① 下水道接続の促進	下水道整備済内の未接続の人	下水道に接続する。	下水道接続率	%	実績	72.9	75.3	76.8	76.7		
② 下水道施設の維持管理	下水道整備済地区の人	下水道を利用できる。	緊急対応出動回数	回	実績	228	218	227	304		
③ 下水道整備の推進	下水道未整備地区の人	下水道に接続できるようにする。	下水道整備率	%	実績	84.3	86.3	88.1	87.3		
④ 下水道経営の安定化	下水道事業経営	健全に運営する。	料金収納率(現年)・経常収支比率	%	実績	98.9 142.2	99.0 154.3	99.2 169.6	99.3 197.0		
⑤					実績						

3. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	住民(事業所、地域、団体)の役割	行政(市、県、国)の役割
①	●下水道整備の必要性を認識し、加入接続する。	●下水道を整備する。 ●住民や地域に対する情報発信、啓発活動を行う。
②	A) 施策を取り巻く状況(対象や根拠法令、社会情勢等)は、今後どのように変化するか?(本年度を見越して) ○人口減少によっては使用料収入が減少する。 ○施設の老朽化等により維持管理経費が嵩む傾向にある。 ○国では、下水道会計の企業会計への移行を指導する方向にある。	B) この施策に対して、住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ○下水道審議会からは、生活排水処理事業特別会計の健全経営について懸念する意見が出されている。

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べた成果水準)	
<input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。	<b>背景・要因</b> ○整備(普及)率は、県平均74.0%(松江市97.1%、浜田市41.8%、出雲市78.1%、益田市33.1%、大田市33.3%、安来市83.2%、江津市37.9%)、雲南市87.3%であり高い水準である。

平成25年度施策マネジメントシート2(平成24年度実績の評価)

《11 下水道の整備》

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

時系列での比較(成果水準の推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	背景・要因 ○面的整備はH23年度で、ほぼ完了したが、接続率は人口減少に伴い前年度をわずかではあるが下回った。

5. 施策の振り返り評価

施策の目標達成度(前年度の成果指標値に対する実績値の達成度)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	背景・要因 ○整備率は、H23年度までに面的整備がほぼ完了したこと、合併処理浄化槽の整備も進んだことにより目標値通りの成果となった。

基本事業	取り組んだ事務事業の総括(事務事業貢献度評価:貢献した事務事業、課題が残った事務事業)
① 下水道接続の促進	・大東特環公共下水道の整備がほぼ完了したことにより、大東町の接続率向上につながったが、全市的に見ると人口減少によって接続率はほぼ横ばいとなった。
② 下水道施設の維持管理	・農業集落排水施設の修繕計画を策定するために、7施設の機能診断業務を行った。 ・加茂特環公共下水道は、長寿命化計画を策定し、H25年度からは計画的に維持、更新を図っていく。 ・施設等の修繕や緊急対応に迅速に取り組んだ。
③ 下水道整備の推進	・浄化槽施設整備事業では、48基の整備を行った。 ・集合処理区域の面的整備はほぼ完了した。
④ 下水道経営の安定化	・滞納管理システムの効果的な活用により、事務の効率化及び収納率の向上に努めた。 ・汚泥の運搬処理単価の更なる見直しにより、経費の縮減に努めた。
⑤	

6. 今後の課題と次年度の方針(案)

区分	今後の課題	次年度の方針(案)
施策	○接続率の向上を図る必要がある。 ○施設の老朽化が進んでいる。 ○下水道の整備は定住化の必須条件になっている。 ○健全経営に努めていく必要がある。	○接続率の向上を図っていく。 ○計画的に施設を更新していく。 ○計画的に下水道整備を進めるとともに、下水道に対する理解を深めていく。 ○下水道経営の安定化に努める。
基本事業	① 下水道接続の促進	○接続率を向上させる必要がある。
	② 下水道施設の維持管理	○施設の老朽化が進んでいる。
	③ 下水道整備の推進	○木次三刀屋浄化センターは、MICS事業と連携し整備を行う必要がある。 ○市立病院改築に伴う汚水量増加への対応が必要である。 ○合併処理浄化槽を普及する必要がある。
	④ 下水道経営の安定化	○今後、維持管理費の増加が見込まれる中、下水道事業の更なる健全運営が必要となる。
	⑤	